

旧迫川国営施設応急対策事業 籠岳幹線用水路(その4)工事

本地区は、宮城県北東部の大崎市及び遠田郡涌谷町にまたがる912haの水田地帯で、営農は水稻を中心に、水田の畑利用による小麦、大豆、野菜等を組み合わせた農業経営が展開されています。

旧迫川地区内の籠岳揚水機場及び籠岳幹線用水路は、国営旧迫川土地改良事業(昭和41年度～昭和53年度)により造成されましたが、籠岳揚水機場は平成26年にポンプ内への異物の混入によりポンプが運転停止する不測の事態が発生しているほか、機場及び用水路は軟弱地盤に起因する不同沈下、経年的な劣化によるコンクリート構造物のひび割れ、欠損など施設の性能低下が生じています。これにより、農業用水の安定供給や排水機能に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。

本事業は、これらの問題を解決するため、籠岳揚水機場及び籠岳幹線用水路の機能を保全するための整備を行い、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものです。

その一環として本工事は、籠岳幹線用水路L=193mの更新を行うものであり、かんがい期に、工事用大型車両の通行を確保するための仮廻し道路と工事用道路を整備し、非かんがい期に入り既設用水路の取壊し、基礎工としてPHC杭L=36mの施工を行っています。これからいよいよ本体構造物である現場打開水路工を施工します。今後より厳しい気候条件の中、来春に新しい用水路を通して農業用水が供給される姿を思い描きながら、無事故無災害での完工はもとより、高品質な構造物を提供できるよう作業所一同、努力してまいります。



監督職員からのエール

本工事は、軟弱地盤に起因する不同沈下、経年的な劣化により性能低下した水路の更新を行う工事です。工事は、かんがい期に仮廻し道路や工事用道路などの仮設工事、非かんがい期に既設水路取壊し・コンクリート打設などの本体工事を行っています。

現場は、堤防、橋梁、水道管に近接しており、軟弱地盤対策として杭長36mのプレボーリング工法による基礎工、現場打ちコンクリート水路工などの工事を進める必要があり、地形的な制約があり、技術力が求められます。

このような状況において、現場代理人の木村所長には綿密な施工計画の基、工程管理・品質管理を的確に行っていただき、施工を進める中で発生する新たな課題にも迅速かつ柔軟に対応いただきありがとうございます。

また、地権者や現場周辺の区長さんと良好な関係を築いていただき、工事を円滑に進めることができているほか、水路内に生息する貴重種(貝類)の適地への移動にあたっては先頭に立って対応いただき感謝しております。

これから主要工事に入りますが、農家が待ち望んでいる籠岳幹線用水路の更新を無事故無災害で迎えられるよう、引き続き宜しくお願い致します。

現場代理人

(写真右) りんかい日産建設株式会社

東北支店土木部湧谷作業所長 木村 寛隆

監督職員

(写真左) 北上土地改良調査管理事務所旧迫川支所

施設復旧対策専門官 北林 高

